



信州大学教育学部附属長野小学校学校だより



校長室前の廊下に、子どもたちが集まっています。「天竜川がいいな」「ぞうざんでしょ」などと語りながら、投票用紙にたくさんの子どもたちが希望の場所を書き込み、横にある投票箱に投票していきます。4月の前期始業式が終わると、朝の登校時や休み時間にこんな姿が毎日見られています。それは、副校長先生の始業式でのお話がキッカケになっているのですが…。

今回は始業式の様子をお伝えします。

信濃の国巡り (4月6日 前期始業式 副校長講話)

全校のみなさん、おはようございます。さて、先程3人のみなさんから新しい学年で頑張りたいこと、チャレンジしたいことについて発表してもらいました。自分がやりたいことを堂々と発表できていて、とてもすばらしいと思いました。さて、みなさんは、今年度どんなことにチャレンジしてみたいですか？

私も今年度チャレンジしてみたいことがあります。それは、

副校長講話で「しなののくに めぐり」をして、皆さんに紹介することです。

みなさんも知っている通り、「信濃の国」は校歌でもあり、現在、長野県の県歌になっています。長野県出身の人ならほとんどの人が歌うことができる歌です。この歌には、様々な地名や山や川や人の名前が歌われていますね。例えば、これから写す幾つかの写真はどこの場所か、どこの川か山か、どの人かわかりますか？ヒントは、いずれも信濃の国で歌われている場所や人です。

(「ぜんこうじ」、「あさまやま」、「ちくまがわ」、「さくまぞうざん」の写真と文字をスライドに写すと、子どもたちから「知っている!」「はい、善光寺!」「行ったことある!」などつぶやきが溢れてきます。)

実は、今見てもらった4か所の他に、6か所の写真も用意してあります。(「てんりゅうがわ」、「すわのうみ」、「ねざめのとこ」、「くめじばし」、「おばすてやま」、「にしなごろうのぶもり」も含め、模造紙に貼った10か所の写真と文字を掲示する)合計10か所です。

今年度の副校長講話は、私が現地からZoomを通して生中継をして、「信濃の国」に出てくる場所、山、川、人物の紹介をします。ついでに、それぞれの場所にある珍しい石の紹介をしようと考えています。

ところが皆さん、副校長講話が今年度は5回と決まっているので、この中の全ての場所に行くことができません。そこで、みなさんにお願ひがあります。これを校長室前の廊下の壁に掲示しておきます。そして、そこにアンケート用紙を置いておきますので、10の中から5か所選んでアンケート用紙に書いてください。アンケート用紙を入れるポストも置いておきますので、5か所選んでポストに投票してください。つまり、副校長講話で行く場所を私が決めるのではなくて、皆さんが聴いてみたい場所、興味がある場所を選んでください。皆さんが選んだ場所に、私は行きます。

この副校長講話「しなののくに めぐり(石)」リポートが、わたしの今年のチャレンジです。皆さんも、どんなことでもいいですが、自分で何か1つ決めて今年度チャレンジしてみ

ましょう！今年も「ひとりだち」に向けて学校教育目標「共に在る」を大事にしていきましょう。以上です。

(4月6日 前期始業式より)

始業式終了後から、前述のように子どもたちの投票が始まりました。ここから算数の授業に発展して、全校の集計をしてきているクラスもあるようです。子どもたちと副校長先生の協働の旅が始まります。

耳を澄ませて

同じく始業式では、全校児童を代表して3名のみなさんが、がんばりたいこと、取り組みたいことを発表してくれました。紙幅の関係上、一部分ですが紹介します。

ぼくは、1年生ではじめてあさがおさんのめが出た時、みどりがきれいでかんどうしました。花がさいてほしくて、土やひりょうのこともみんなでかんがえたり、さむい日は中に入れて、あつい日は日かげにいどうしたり、ぼくたちは、いろいろとくふうしました。花がきれいにさいた時は、とてもうれしかったです…だから、2年生で生きものをそだててみたいです。きっと1年生で学んだくふうがやくにたつとおもうからです。いのちは、せきにんがおもいけれど、ぼくたちならアイデアをつかってそだてられるとおもいます。

(2年2組 南澤 悠理さん)

私は、4年生でどんなことにも挑戦するということや相手を思った行動をすることを頑張りたいと思います。こう思ったきっかけは3年生でぶーちゃんを育てたからです。私はぶーちゃんを育てて、命を守るために、いつもみんなで話し合いをしたり、大変なことにも逃げないで立ち向かったりすることを学びました。だから、ぶーちゃんから教えてもらったことを4年生でも生かしたいと思います…新しいクラス、新しい教室、今日からスタートする新たな日々を、仲間を大切にしているいろいろなことに挑戦する一年にしたいと思います。

(4年1組 野村 瑩乃さん)

私はいよいよ今日から6年生になります。不安と楽しみが半分ずつあります。6年間はとても長い時間ですが、この学校にいと時間が早く過ぎていきます。この学校が好きで友達とい時間を楽しんでいるからだと思ひます。6年生は最高学年なので児童会をはじめ、全校を引張っていく立場になります。いろいろな活動を通して全校のみなさんとつながるきっかけが多くなると思ひます。その中で顔や名前を覚えてもらって、困ったことや話したいことがある時に、気軽に話しかけてもらえるような存在になりたいです。思えば、私が1年生のころ、6年生が毎日休み時間に遊びに来てくれました。とても頼りがいがあってかっこいい姿でした。今度は私が6年生、私の目指す6年生になれるように頑張って悔いのない1年間にしていきたいです。

(6年1組 古澤 菜々美さん)

私が驚いたのは、どの児童もこれまでの学習や経験を自覚して、自分の中で意味付けて語っていることです。しかも、「〇〇ができなかったから…」と語るのではなく、これまでの学習を土台にして次へと進もうとしています。学ぶということは、一生を通した「自分探し」でもあります、自律的な学習者に向けて力強く自分の成長を実感しているみなさんの発表でした。

きっと全校一人一人の中にあるのだと思ひます。そして今年度も今しかできない経験をたくさん積み重ねていくことでしょう。ありがとうございました。

